

序

厚生省母子衛生課所管の心身障害研究課題のうち、小児慢性疾患臓器系に関する研究班は、昭和55年度より「小児慢性疾患の生活指導指針の確立」を大きな共通テーマとして発足し、第2年度を終った。

今年度は本研究班の一つの大きなテーマである慢性疾患児の精神指導に関する研究班が独立して活躍を始めた。また55年度に本研究班に含められた母子健康手帳に関する研究グループは他の研究班に移された。

各研究班の研究班員は次のごとくである。

「小児慢性疾患（臓器系）に関する研究」

生活指導指針に関する研究

気管支喘息

三河春樹（京都大学小児科）

高脂血症

藪内百治（大阪大学小児科）

川崎病

草川三治（東京女子医大小児科）

心疾患

大国真彦（日本大学小児科）

若年性関節リウマチ

寺脇保（鹿児島大学小児科）

腎疾患

堺薫（新潟大学小児科）

エクスプリマチュアチャイルドの長期養護

馬場一雄（日本大学小児科）

小児慢性疾患の精神衛生指導

長畑正道（筑波大学心身障害学系）

今年度の研究成績では慢性疾患児の心理に関する研究が注目され、また種々の疾患の管理指導指針が発表されている。またその他多くの注目すべき業績も発表されている。御活用を期待するものである。

昭和 57 年 2 月

主任研究者（班長）

日本大学教授 大 国 真 彦